



●三重支社
津市栄町4の255
津栄町三交ビル
3階
電話 059(228)2545
FAX 059(271)6311

●四日市支局
四日市市中浜田町
4の16
ロイヤルマンションHAMADA
208号
電話 059(354)6116
FAX 059(329)5333

定期預金証書袋を共通化

3県下 SDGsの取り組みで

【三重】桑名三重、北伊 庫は4月1日から、共通の
勢上野、紀北の3信用金 定期性預金(定期預金・定

三重の
おもてなし経営

受賞企業が
トップに聞く

◆ 2 ◆

多様な人材との連携推進 社員の“居場所”生み出す

と接することで社員の成長にもつながっている」
—地元小中学生の受け入れにも積極的だ。

「小学校の社会見学や中学・高校生の仕事体験を受け入れてきた。仕事体験では、どんな保冷剤を作りたいかを決め、原料や色を選び、配合までを行っており、大変好評だ。ミエラボのリアル拠点整備にあたり、階段状の畳スペースなど、子どもたちが座れる場所を設けた。ガラス張りのR&Dラボは、外から実験の様子も見られる。コロナ禍が収まったら、たくさん子どもたちに来て欲しい」

「今後の目標は。『地域には、頑張っている若手経営者が多く存在する。もっと連携していけば地域は盛り上がる。将来的には、ミエラボで出会った企業同士がコラボして新たな仕事が生まれることで、地域活性化に貢献できる場にしていきたい』

「具体的な取り組みは。『これまでに8プロジェクトが立ち上がっている。例えば、女性ばかりのメンバーでフェムテックをテーマに新商品開発に取り組んでいる。製造現場や事務職ほか、社外メンバーも含め多様な人材が集まり、一から自分たちが欲しい製品を考える。自由な発想に任せており、参加メンバーも楽しんでいる。社内にアイデアを出せる場を設け、社員を巻き込み、個性を發揮してもらおう。さらに、社外メンバー



「地方の中小でも、多様で自由な働き方ができることを発信していきたい」と話す山川社長

三重化学工業(本社松阪市大口町262の1)は、保冷剤や作業用手袋、医療機器の製造販売事業を展開する。2020年に多様な人材と連携するオープンイノベーション「ミエラボ」を立ち上げ、今年2月に本社事務所移転に合わせてリアル拠点を設けた。「社員にとって、たくさん居場所がある会社になれば」と話す山川大輔社長に取り組みを聞いた。

三重化学工業 山川 大輔社長

(やまかわ・だいすけ)

(聞き手・片桐芳樹)

「おもてなし経営企業選」を受賞した。

「社員の幸せを高めるための仕組み作りがずっと取り組

んできた。社員のエンゲージメントを上げていくためには、最近では存在感、居場所が重要になってきている。ミエラボのプロシエクトなどに参加することで、社員にとって会社にたくさん居場所が生まれ、働きがいにつながっている。地方の中小企業でも、わくわくしながら仕事ができる。社内を

「大手企業がオープンラボを展開している。中小の製造業が取り組むとまた違った面白さがある。リアル拠点では、アイデアが出たら、すぐ隣のR&Dラボで試作に移せる。社内を